

令和 8 年度環境大賞募集要領

1 目的

環境保全に関する実践活動が他の模範となる個人又は団体等を秋田県知事が表彰し、その活動事例を広く県民等に紹介することにより、県民等の環境保全に関する自主的な取組を促進することを目的とします。

2 募集対象

(1) 対象者

秋田県内居住の個人又は県内に活動拠点のある団体等。
(活動拠点とは本社、支社又は営業所等を指します。)

(2) 対象活動

県内で実践している環境保全全般に関する活動事例を対象とし、(3) から掲げる実践活動で、独創性や地域とのつながりがあり、他の模範となる活動であれば内容は自由とします。

(3) 活動内容の区分

地球温暖化防止に係る取組
循環型社会形成に係る取組
環境教育・学習に係る取組
環境美化に係る取組
その他環境保全に係る取組

各区分の具体的な取組例については、本要領末尾の【参考】をご参照ください。

(4) 募集部門

個人部門

環境保全や環境教育に関する実践活動に取り組む個人。

学校教育関係部門

県内の保育所、認定こども園、幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校。

団体部門

町内会、NPO等のあらゆる種類の団体を含む。ただし、学校教育関係と事業者は除く。

事業者部門

社会貢献分野

事業活動とは直接結びつかない、環境保全や環境教育に関する実践活動に取り組む事業者。

環境事業分野

事業活動として環境保全に資する先進的・独創的な活動に取り組む事業者。

「個人部門」「学校教育部門」「団体部門」「事業者部門 社会貢献分野」については、一定期間の活動実績があり今後も継続する見込みがある取組とします。
「事業者部門 環境事業分野」については、環境保全に関する先進的・独創的な事業活動で他の模範となる取組であり、おおむね直近3年度の間事業化され今後も継続する見込みのある取組とします。
応募は1者につき、1件に限ります。複数の部門・分野には応募できません。

(5) 過去の受賞歴に関する留意事項

当該環境大賞の受賞歴（部門問わず）がある場合

平成 28 年度以降の受賞

過去 10 年以内に受賞歴がある場合は、募集対象外となるため応募できません。

平成 27 年度以前の受賞

過去の受賞から 10 年が経過している場合、受賞対象と異なる取組については募集対象となります。過去の受賞と同じ取組については受賞時から顕著な発展性がある場合に限り募集対象とします。

他の知事表彰の受賞歴がある場合

受賞対象と異なる取組については募集対象となります。同じ取組については、受賞時から顕著な発展性がある場合に限り募集対象とします。

3 応募方法

(1) 募集期間

令和 8 年 5 月 2 7 日（水）～ 6 月 3 0 日（火）午後 5 時必着

(2) 提出方法

応募は、自薦・他薦を問いません。別紙申込書に必要事項を記載の上、問合せ先へ提出してください（郵送、FAX、メールいずれも可）。

提出いただいた資料は返却しません。大切な添付資料等はコピーを提出してください。

(3) 提出書類

別紙 1 をご参照ください。

4 選考方法

選考委員会において、別紙 2 の審査基準により審査を行い、審査の結果に基づき、受賞者を決定します。

5 選考結果の通知

選考結果は、応募者全員に通知します。

6 表彰方法等

(1) 表彰式

受賞者には、賞状及び副賞を授与します。表彰式は令和 8 年 1 0 月 1 0 日（土）に開催予定の「第 2 4 回あきたエコフェス～ゼロカーボンと 3 R で変わる未来～」の開会式で行います。

(2) 表彰件数

表彰は、活動内容の区分を問わず、個人部門、学校教育関係部門、団体部門及び事業者部門からあわせて 5 件程度とします。

7 県民等への紹介と情報発信に関する協力

受賞した活動事例は、県のウェブサイト等で広く県民等へ紹介します。

また、各種媒体を活用して、受賞した活動事例を広く情報発信しますので御協力ください。ご提供いただいた写真等を県のウェブサイト、リーフレット等で使用させていただく場合があります。

8 その他

全ての部門について、次の項目に該当することが判明した場合は、募集の対象外となるほか、受賞決定後も取消しとなることがあります。

- (1) 各種法令違反の容疑により逮捕され、又は逮捕を経ないで公訴を提起された場合等
- (2) 各種法令等に違反し、罰則等の行政処分、又は入札参加停止等の措置を受けた場合
- (3) 取組等の内容に虚偽がある場合
- (4) 取組等の内容に特許権等の他者の権利の侵害が含まれる場合

9 問合せ先

〒010-8570

秋田県秋田市山王四丁目1番1号

秋田県生活環境部温暖化対策課 環境活動推進チーム

TEL：018-860-1560 FAX：018-860-3881

E-mail：en-ondanka@pref.akita.lg.jp

【参考】募集対象となる具体的な取組例

(1) 個人部門、学校教育関係部門、団体部門

部門	募集対象の取組例	活動区分
個人部門	地域コミュニティでの環境意識の醸成・啓発	、
	自然・生物多様性の保全・美化活動と次世代への伝承	、
	家庭での省エネ・再エネ導入等による脱炭素社会の実践	、
	食品ロスや3Rの実践等を通じた身近な資源循環の推進	、
	気候変動への「適応策」の実践と知識の普及	、
学校教育関係部門	身近な生態系の保全や里山再生活動への参画・継承	、
	地域と連携した環境課題解決に向けた探究的な学習活動	、
	校内・家庭等での省エネ・脱炭素を推進する実践活動	、
	リサイクル活動等を通じた資源を大切に作る循環型社会への貢献	、
	気候変動の影響を学び、地域の防災等に活かす「適応」の学習・普及	、
団体部門	地域ぐるみでの脱炭素の実践及び普及啓発活動	、
	ごみの資源化・食品ロス削減等を推進する地域循環の仕組みづくり	、
	自然景観、里山・里海、生物多様性を守り育むための組織的な保全活動	、
	体験・探究型の環境教育プログラムの企画・運営	、
	水質保全や景観美化、地域の環境課題解決に向けた連携活動	、


(2) 事業者部門
社会貢献分野

部門	募集対象の取組例	活動区分
事業者部門 (社会貢献分野)	脱炭素化に向けた普及啓発や、森林保全・緑化を通じた炭素吸収源対策	、 、 、
	地域清掃や排出抑制・再資源化を促す地域連携の循環型社会構築	、 、
	自然景観の保全や生物多様性の保護、里山・里海の再生等のボランティア活動	、 、
	環境学習プログラムの提供や講師派遣等を通じた教育支援・啓発活動	
	水環境の保全や地域の美化活動、環境イベント等を通じた生活環境の維持	、 、

環境事業分野

部門	募集対象の取組例	活動区分
事業者部門 (環境事業分野)	省エネ設備等の導入に留まらず、DXの活用等先進的な取組により、脱炭素化を推進する事業活動	
	環境負荷を低減する次世代素材・製品の開発やサービス提供を通じた環境事業の創出	、 、
	ビジネスモデルの転換や廃棄物の高付加価値化による先進的な資源循環(サーキュラーエコノミー)の実践	
	気候変動の影響を軽減・回避する独自の製品・技術開発を通じた「適応」に関する事業の展開	、
	独自の製品や技術を活用した、自然環境や生物多様性の保全・再生を図る事業活動	、
	その他、先進的・独創的な環境に関する事業活動	~

環境大賞提出書類

(1) 個人部門、学校教育関係部門、団体部門	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 申込書【様式 1】 ・ 添付資料 (参考となる活動の写真、資料等を添付資料として提出できます。)
(2) 事業者部門	
社会貢献分野	<ul style="list-style-type: none"> ・ 申込書【様式 2】 ・ 添付資料 (参考となる活動の写真、資料等を添付資料として提出できます。) ・ 定款等の写し
環境事業分野	<ul style="list-style-type: none"> ・ 申込書【様式 3】 ・ 添付資料(参考となる事業活動の写真、資料等。) ・ 定款等の写し 応募する技術や製品・サービスの資料は、公開が可能なものとしてください。
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様式は、秋田県公式ウェブサイト「美の国あきたネット」環境大賞のウェブページからダウンロード可能です。 ・ 申込書の「活動内容」は5枚まで、(1) 及び(2) 事業者部門社会貢献分野の添付資料は10枚まで(A4サイズ、裏表印刷可)としてください。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;">  <p>「美の国あきたネット」環境大賞ウェブページ https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/48927 こちらの2次元コードからもウェブページを ご覧いただけます</p> </div>

「環境大賞」審査基準

1 個人部門、学校教育関係部門、団体部門、事業者部門(社会貢献分野)

評価項目名	評価の視点
環境保全効果性	活動が環境にどれほど好影響を与えているか、またその活動内容が有効であるか
波及性	県民の誰もが取り組みやすい活動であり、その活動の紹介による波及効果が見込まれるか
地域との連携性 (活動の広がり)	一団体等、一個人にとどまらず、地域と関わり、幅広い活動を行っているか
独創性・先進性	その活動が画期的なものであるか
継続性 (今後の展開)	活動が継続して行われているか又は今後も継続して取り組まれていくようなものであるか

2 事業者部門(環境事業分野)

評価項目名	評価の視点
環境保全効果性	活動が環境にどれほど好影響を与えているか、またその活動内容が有効であり、具体的な効果を示しているか
波及性	活動が、脱炭素社会に向けたライフスタイルの変革や他企業の模範となる効果が期待できるか
地域との連携性 (活動の広がり)	一事業者にとどまらず、地域と関わり、幅広い活動を行っているか
独創性・先進性	事業・技術による活動が県内の同業他社と比較して、革新的で独自性があるか
継続性 (今後の展開)	持続可能な仕組みが確立されており、継続的な発展が期待できるか